

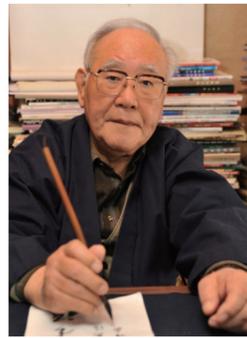
文化賞の受賞者が決まりました

学術や芸術文化活動の振興に努めた市民に贈る高崎
市文化賞の今年度の受賞者が、書道振興の瀧澤虚往さん、郷土史研究の田島桂男さんに決まり、11月27日に市役所で授賞式が行われました。

問い合わせは、文化課（☎321-1203）へ。

受賞者の経歴と受賞理由

瀧澤虚往さん（木部町）



「精進の日々。これからも書き続けます」と瀧澤さん

高校生だった昭和25年、群馬県書道展で第一席を受賞。26年から金澤子卿に師事し、書・篆刻・漢詩を本格的に学び始めました。平成18年に群馬書道大賞の大賞を受賞。顧問を務める高崎書道会では機関誌などの編集に携わり、本市の書道の水準の高さを市内外に示しました。中国や台湾の書道会と50年以上交流を続

書道の振興や郷土の歴史研究に貢献

け、書展を共同で開催するなど、国際交流においても貢献しています。教員時代には、子どもたちの書道教育に尽力。長年にわたり後進を育成するなど、本市の書道振興に力を注ぎました。

田島桂男さん（下豊岡町）

中央公民館長や中学校長などを歴任。高崎市史の編さんに携わり、郷土史の研究に貢献しました。古墳や町名の由来など高崎に関する書物も執筆。広報高崎の連載やラジオ高崎の番組をとおして、市民に歴史や文化財の大切さなどを伝えようと活動してきました。平成29年に、高崎藩に関する書物や本市にゆかりのある歌人・俳人の短冊など、貴重な資料を市に寄贈。これをたたえ、翌年には文化財保護賞を受賞しています。



「歴史に埋もれさせず、後世に伝えたい」と田島さん

文化財保護賞の受賞者が決定しました

小栗上野介のPR や市史編さんに貢献した人を表彰

今年度の市文化財保護賞の受賞者が、小栗上野介顕彰会（倉渕町三ノ倉）と、森田秀策さん（下豊岡町）に決まりました。同賞は、文化財の保護・普及に功績のあった人（団体）や、重要な文化財を寄付した人などをたたえるものです。今年度の授賞式は11月27日に市役所で行われました。

問い合わせは、文化財保護課（☎321-1292）へ。

受賞者の紹介

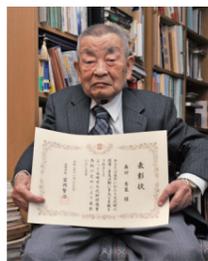
▶小栗上野介顕彰会は、小栗上野介にまつわる県や市の指定史跡の清掃を行うなど、長年にわたり文化財の保護と環境整備に貢献しました。市内外で企画展を開催するなど、小栗の功績を広くPRしています。同会の皆さんは「先人が伝えてきた小栗公の功績を、これからも伝えていきたい」と語りました。



小栗上野介胸像



小栗上野介顕彰会の皆さん



森田秀策さん

▶森田秀策さんは、県文化財保護課長、県立歴史博物館長、市文化財調査委員などを歴任しました。また、高崎市史の編さんでは中心的な役割を担い、市の歴史教育や文化財の保護に尽力。森田さんは「大変栄誉ある賞をいただきありがとうございます」と喜びを語りました。



著書「高崎史帖」

第8回高崎学検定結果

受検者は中学3年生から89歳までの84人で、男性68人、女性16人。最高点は91点で、平均点は66.2点でした。

高崎学博士

伊藤 孝平さん（吉井町本郷） 小山 俊明さん（倉賀野町）
高井 郁朗さん（中大類町）

高崎学の達人

天田 勝元さん☆4 佐藤 光基さん☆4 石川 健一さん☆3
坂上 義一さん☆3 佐藤多喜子さん☆3 茂木 敏司さん☆3
横堀 進さん☆3 手島 杏樹さん☆2 赤澤 章吾さん☆1
萩原 和夫さん☆1

成績優秀者

赤澤 章吾さん 天田 勝元さん 石川 健一さん
今井 康彦さん 大野 直樹さん 大山 博幸さん
坂上 義一さん 佐藤 光基さん 佐藤多喜子さん
須永 保さん 手島 杏樹さん 萩原 和夫さん
黛 堅さん 茂木 敏司さん 横堀 進さん
(50音順)

センター、15階社会教育課、市民活動センター・ソシアスで無料配布しています。学習の参考に活用してください。高崎学検定は、歴史・文化・産業など、高崎についての幅広い知識を問うご当地検定です。本市について広く学ぶことで愛着を持ってもらい、未来のまちづくりにつなげることを目的に実施しています。受検した人からは「高崎に関する知識が深まった」「高崎学の勉強をとおして歴史の面白さに気付いた」「頭の体操になるので今後受検したい」などの声が寄せられています。「高崎」について学び、成果を試す場として、ぜひ次回の高崎学検定に挑戦してください。

市ホームページで、過去の検定問題と解答が見られます



問い合わせは、市民活動センター・ソシアス（☎329-7114）へ。



約100人が聴講したシンポジウム

生涯学習フェスティバルで高崎学博士の表彰式とシンポジウム

生涯学習フェスティバルが、12月5日に市民活動センター・ソシアスで行われました。その中で、高崎学博士の表彰式とシンポジウムを開催。シンポジウムでは今回認定された博士2人が登壇し、高崎学検定の醍醐味や実践している勉強法などについて語りました。

インタビュー 高崎学博士に聞きました

挑み続けて 念願の高崎学博士に



伊藤 孝平さん（吉井町本郷）

歴史や社会が好きで、第1回の検定から受検しています。挑戦し続けて今回の8回目で、ようやく高崎学博士になれました。この検定は、毎回新しい題材が取り入れられ、問題の傾向も少しずつ変わっていくので挑戦しがいがありますね。検定の解説本はもちろん、高崎の歴史や地理に関する本などを繰り返し読んだり、インターネットで高崎について調べたり。時には高崎が舞台の映画を観るなど、楽しみながら勉強しています。気になった場所には、実際に足を運ぶことも。現地を訪れ自分の目で見ることで、知識が定着するし、新しい気付きや思わぬ発見がありましたね。これからも勉強を続けていきます。皆さんもぜひ検定に挑戦してほしいですね。

第8回「高崎学博士」に3人が決定

高崎を知り、高崎を愛し、高崎を創る高崎学検定
10月24日に行われた第8回高崎学検定の高崎学博士3人と成績優秀者15人が決定しました。また、これまでの検定で3回以上成績優秀者になった「高崎学の達人」には、10人を認定。高崎学の達人は、成績優秀者になるごとに星の数が増えています。今回認定された高崎学博士や高崎学の達人、成績優秀者は左記のとおりです。

「第8回高崎学検定問題と解説」を市役所1階市民情報センター、15階社会教育課、市民活動センター・ソシアスで無料配布しています。学習の参考に活用してください。高崎学検定は、歴史・文化・産業など、高崎についての幅広い知識を問うご当地検定です。本市について広く学ぶことで愛着を持ってもらい、未来のまちづくりにつなげることを目的に実施しています。受検した人からは「高崎に関する知識が深まった」「高崎学の勉強をとおして歴史の面白さに気付いた」「頭の体操になるので今後受検したい」などの声が寄せられています。「高崎」について学び、成果を試す場として、ぜひ次回の高崎学検定に挑戦してください。